

科目名	卒業研究2(演習)		科目ナンバー	CL-SM3204-I		
担当者 (実務経験名)	講師 松本 美耶					
履修期	2年 後期		卒業単位	必修 2単位		
免許・資格	情報処理士必修					
授業概要	卒業研究1での学びを踏まえて、卒業論文の完成を目指します。					
到達目標	知識・理解	研究テーマに関する専門的な知識を理解・習得し、その内容を他者に伝えることができるようになる。				
	思考・判断	研究テーマに関する文献・資料を収集・整理し、その情報を自身の意見や主張を述べるために活用することができるようになる。				
	興味・意欲・態度	自らが設定した研究テーマに興味・関心を持ち、意欲的に取り組むことができるようになる。				
	技能・表現	学術文書にふさわしい手順を踏んで論文やレポートが書けるようになる。				
授業計画	授業内容		事前事後学習内容		時間 (時間/週)	
	1	進捗報告発表会、添削した序章の返却	夏休み期間に行った調査や研究について報告できるよう資料にまとめておくこと。		4	
	2	卒業論文の構成について考える(1) - 章立てを考える -	卒業論文全体の輪郭を考え、箇条書きでまとめておくこと。		4	
	3	卒業論文の構成について考える(2) - 目次の作成 -	第2回の講義で学んだ内容を踏まえ、各章で執筆する内容を考えておくこと。		4	
	4	卒業論文の構成について考える(3) - 目次の作成② -	第3回の講義に引き続き、目次を作成を進めておくこと。		4	
	5	論文の作法について学ぶ(1) - 論文らしい表現 -	卒業論文のタイトルを決め、目次と序章を完成させておくこと。		4	
	6	論文の作法について学ぶ(2) - 引用のルール -	卒業論文の執筆を進めておくこと。		4	
	7	卒業論文の執筆(1) - 個人指導 -	卒業論文の執筆を進めておくこと。		4	
	8	卒業論文の執筆(2) - 個人指導 -	卒業論文の執筆を進めておくこと。		4	
	9	卒業論文の執筆(3) - 個人指導 -	卒業論文の執筆を進めておくこと。		4	
	10	論文の作法について学ぶ(3) - 体裁を整える -	卒業論文の執筆を進めておくこと。		4	
	11	卒業論文の推敲、校正(1)	自らの結論が問題提起からズレていないか、考察や意見に説得力があるか読み直しておくこと。		4	
	12	卒業論文の推敲、校正(2)	文章のねじれ、誤字脱字がないかなど卒業論文の体裁を念入りにチェックしておくこと。		4	
	13	卒業研究発表会に向けて(1) - 発表資料の作成 -	卒業研究発表会のパワーポイント資料を作成しておくこと。		4	
	14	卒業研究発表会に向けて(2) - 発表資料の修正 -	卒業研究発表会の台本を作成しておくこと。		4	
15	卒業研究 プレ発表会	発表資料や原稿を準備した上で、本番通り時間を図り発表の練習をしておくこと。		4		
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験					
	レポート	○	○	○	○	60%
	課題					
	実技	○	○	○	○	30%
	受講状況・態度 その他()			○		10%
フィードバックの方法	基本的に毎回の講義で個人指導を行います。毎週、期日までに書きあがったところまでの卒業論文を提出してください。提出された卒業論文は、添削した上で講義内に返却します。					
教科書	毎回、資料を配付します。					
参考書	授業中に適宜紹介します。					
アクティブ・ラーニング	「進捗報告発表会」では個々の研究テーマや研究の進捗についてプレゼンテーションを行います。また、「卒業研究プレ発表会」では、本番を想定した形でのプレゼンテーションを行います。					
ICT活用	eラーニングサイトを利用し、課題提出を行います。 パソコンを活用し、文献や資料の検索を行います。 パワーポイントを活用し、プレゼンテーションを行います。					
メッセージ・備考	卒業研究1を踏まえ、自らが設定したテーマに関する考察を深めながら卒業論文の完成を目指します。意見を相手に正しく伝え納得させる文章を書くスキルは、社会のどの場面でも皆さんの助けとなります。2年間の集大成となる卒業論文の執筆を通じて「書く力」と「伝える力」を磨きましょう。					
関連科目	日本語日本文学科目すべて					